

# 経営指導員が発見! キラ★星企業

No.67

姫路商工会議所には様々な業種や規模の事業所が加入されています。  
そのなかで、当所経営指導員が出会った「キラッ」と光る事業所の取り組みをご紹介します!



## 今までの歩み

「ジョイラボ」は義手や義足、コルセット等を、医師の処方に基づき製作する医療機器メーカーである。代表の八尾氏は、3年間、京都の義肢装具製作所で経験を積んだのち、青年海外協力隊で義肢装具士の指導者としてドミニカに渡り、2年間人材育成を行った。その後、ハイチ大震災の義肢支援活動でNGO団体にて3年間、被災者約250人の義肢を製作してきた。その中でも特に印象的な出来事がある。生まれつき両足、両手の一部が無いという女の子が、母親に連れられて、遠い町から砂利道の中、両足を引きずりながら八尾代表のもとにやって来た。話を聞いてみると、朝の2時に家を出発し、ロバに乗って山の上から下りてきたという。その女の子は体の奇形が原因で、学校にも通っておらず、16年間足を引きずりながら生活していた影響で、足が曲がり、上半身は固まっていた。その事実衝撃を受け、「絶対に歩かせてあげたい!」と自分自身を奮立たせた。上半身をほぐしたり、義足を装着して、リハビリを3か月間行った。そして、初めて立ち上がることができ、学校に行けるようになった彼女に心から感謝された。「こんな世界があったのか」と感動し、自分の未来を想像することができたという。人生を変えられたことに感動したこの経験が、今の八尾代表の原点である。また、ハイチでは、先進国に比べ奇形児や日常生活が困難な切断者が多く、様々な症例を沢山経験してきた。この業界の先進国はアメリカやドイツであるが、ハイチ支援の際、アメリカ系NGO機関の義肢センター長として貴重な症例をたくさん経験した八尾代表の技術力は、世界レベルだといえる。帰国後は、仕事と海外支援活動を両立していきたいと考え、「ジョイラボ」を設立。また、これまでの経験を活かし、地元の看護学校で非常勤講師としても活躍してきた。

## ジョイラボの魅力

ジョイラボでは、常識にとらわれず、新しいデザインやカタチの製品を製作している。コル

ハイチでの経験を原点に、常に斬新なアイデアで、お客様に喜びと感動を提供し続けます。

ジョイラボ 代表 八尾直毅

セットや義足には、ヒョウ柄等も取り扱う。さらに、患者の義肢装着やりハビリまでの時間をできる限り短くするために、1~2日後等、とてつもないスピードで納品するという。「八尾さんのところだったら早く作ってくれる」とリピーターは多い。

## これまでのノウハウを活かしたオーダーメイドインソール

ジョイラボの製作する商品の中に、オーダーメイドインソールが存在する。オーダーメイドインソールは、兵庫県のプロバスケットボールチーム「西宮ストークス」とサプライヤー契約を結んでおり、トップアスリートに認められるほどのものである。靴の専門店ではない同社は、オーダーメイドインソール製作にあたり、医療用インソール、義手、義足等の既存の製作技術を活かしているという。足と体のトラブル予防や痛みの軽減、パフォーマンス向上等、その人の目的や靴の形状等に応じて、こだわりの技術で一つ一つ丁寧に製作しているため、高い評価を獲得し、多くの人に愛用されている。

## 今後の展望

八尾代表は「利用する人が少しでも早く社会復帰をできるように、西播地区の医療関係の下支えとして、これからも頑張りたい。また、原点であるハイチへの支援を今後も続けていきたい。」と語った。



## DATA

事業内容：義肢装具製作、オーダーメイドインソール製作、ハイチ復興支援事業

所在地：〒670-0061 姫路市西今宿1-1-10  
電話：079-227-7091 FAX：079-227-9307